総務課(建物)に問う!

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町6-3

▽まる6月18日(金)物理講義室に於て新・旧執行部△▽と総務課の先生方(窪先生・吉田先生)による第一回公△▽聴会が開かれた。オブザーバーとして加藤(天)先生と△▽大仁先生が参加された。

(天)「執行委員(生)「先生方

(執)「職員会議で正式に上げきを実施することが決定されたのは昨年10月中旬であったとのこと。職員に最初に話がおちたのは9月17日であるということである。その間の約3カ月間の空白はどうなっていたのですか?

(生)「上げきについては職員間の同意がなかなか得られず、武庫高との交換授業もあり、すぐに生徒には表できる段階ではなかった。

(執)「実施にあたって、生徒の意見を聞けたのではないでしょうか。

(生)「学校美化は、生徒と先生共通の意見である。又生徒の意見がそのまま職員会議にくるわけではない。そこが教師としての指導上の立場である。

(執)「教師の主観がはいることはやむをえないのですか。

(生)「そういうことです。

いくら生徒の意見が多くても何%あろうともうけ入れられない場合もある。

中館の上げきも実施は、美化担当の管川君に連絡し話し合う余地をあたえた。しかしその際に生徒の意見は全てはなかった。

(執)「本館西側1階ロビーの出入口は生徒が通行出来ないのは何故ですか。

(生)「通行時にレイの彫像を見るというのは、ごじつけであり昼休みにでも十分時間がある。ロビーは学校の顔であるからきれいなままでおいておきたいし、混雑すると困る。外来のお客さん用である。又吹きぬけのため会議室へ声が全部きこえる。生徒用の入口とそうでない入口がある。

(執)「正門にいるはどうですか。

(生)「正門はいつも開けておくものではなく建物の正面にあるから正門である。通用門はその建物に住む者が使う物であって、来客が通用門を使ったりするものではない。学校行事で必要な時開ける。来客は通用門を通ることを誇りに思ってほしい。

(執)「車がとまっているのはどういうことですか。

(生)「車がある3つは門が開すっているからで確かによくないことだ。これは難しい問題で、他に駐車する所がない。臨時の措置である。(正門の横の勝手口は守衛がいた時は開けていた。今は守衛がいないため閉めている。)

(執)「正門にいるはどうですか。

(生)「正門はいつも開けておくものではなく建物の正面にあるから正門である。通用門はその建物に住む者が使う物であって、来客が通用門を使ったりするものではない。学校行事で必要な時開ける。来客は通用門を通ることを誇りに思ってほしい。

(執)「車がとまっているのはどういうことですか。

(生)「車があるのは門が開すっているからで確かによくないことだ。これは難しい問題で、他に駐車する所がない。臨時の措置である。(正門の横の勝手口は守衛がいた時は開けていた。今は守衛がいないため閉めている。)

(執)「本館改築以後、職員室事務室等の電話から館事に全校放送することが可能になった。これによって手間になる集会をかけたりすることができるようになりいそがしい教師が放送部と直結したインターホンを設置できないでしょうか。

(生)「たしかに乱用気味である。自粛したい。インターホンをつけるのにすぐというわけにはいかないが……。

(執)「建先生はよく「運動」等を集会で呼びかけてから、ホイントがずれているように思われた。一方執行委員の質問も深く追求できず、納得のいく回答を得ることができなかった。おまけに質問を出した日の旧会長の他は意見がほとんどでた。他の執行委員から出てくるのか、又は、いえば悪いかもしれないが、つっこまれるのないものだったのか。先生方の回答は、納得のいくものだったのか。

解説 公聴会を振り返って……

我々は、この公聴会の模様を録音もしようとしたが「言葉尻をとられるといやだから」と断られてしまった。そしてもし録音をとっていたならば我々もそう言葉を選んで話すようになり、答が出ないまま終ってしまうだろう。とのことだった。どうも必要以上に神経質になっていたのではないか。そして話し合いはよくいえば穏やかだったが実際はつっこみどころのないものだった。先生方の回答は、納得のいくものだったのか。

我々は、この公聴会を通して、生徒手帳は生徒にいったい何を得させるのかということを考えさせられた。「運動」などあいまいで困惑をまねいているが、私がいたからでなく、自治会でやって欲しい。例えば遅刻なら執行委員や代議員がするべきである。自主的にやってほしい。服装なども生徒手帳の生徒指導合わせ事項にも記されているのでそれに基づいてやってほしい。

(生)「生徒の生徒手帳に記載事項に「校に正門を使うこと」の他にもの項目の文が書とっているのはどういうことか。生徒に、何の了承もないのはおかしいのではないか。

(先)「生徒手帳は生徒にいったい何を得させるのかということは公にするべきではないのですか。

(生)「それはそうだ。

約2時間に渡って行われた第一回公聴会は、時間切れという形で幕を閉じた。次回の公聴会は7月上旬の予定である。

尚、我々出版部は中立的立場を守るため、今回の新聞は一問一答形式にした。